

南日本新聞

2020(令和2)年

6月16日
火曜日

旧暦閏4月25日
仏滅

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4

南日本新聞社 発行所:〒890-8603 鹿児島市与次郎1-9-33
☎099(813)
読者センター5110(平日9時半~17時半) 報道5124
総合受付5001 販売5040 広告5063 事業5052

竹紙100%ストロー開発



ユニカラーが開発した国内初の竹紙100%ストロー

日置・ユニカラー 国内初

「里山再生、脱プラ貢献」

印刷業の協業組合ユニカラー(日置市)は、鹿児島県産竹を100%使った竹紙のストローを開発した。同社によると竹紙100%ストローは国内初。「竹林整備による里山再生や脱プラスチックに貢献できる、環境にやさしいストロー」として浸透を図る。県の竹林面積は約1万8千

平方メートル(2019年度)と日本で、伐採された竹の放置など竹林の荒廃が問題となっている。竹の利用拡大のため、同社は09年から中越バルブ工業川内工場(薩摩川内市)が製造する竹紙を使った商品開発に取り組み、メモパッドや手帳、焼酎用箱などを作ってきた。海洋プラスチック問題や外食大手のプラスチック製ストロー廃止の動きを受けて19年、プラの代わりとなる竹紙ストローの開発に着手。県の補助金を活

用し、国内ストローメーカーの協力で、安全性と接着性を両立するのりの配合などテストを重ねた。竹紙は撥水剤の浸透率が高く、製品化が実現したという。

ストローは長さ19・5センチ、直径5ミリ。3万本作製し、仙巖園(鹿児島市)のキッチンカーなどで使われる予定。特許を申請中で、岩重昌勝代表理事は「コストはかかるが、里山再生のための社会貢献。開発の趣旨を伝えながら、PRしていきたい」としている。ユニカラー☎099(813)7213。(吉田文)